

パーソナルアシスタント町田通信

VOL. 70 2011年9月発行

◇設立六周年になりました！

9月15日で会社設立六周年になりました。決算も無事に終えて、おかげさまで大きな問題も起きることなく、七周年目をスタートさせることができました。

設立当初は小さなワンルームマンションから事業所をスタートさせて、今では事務所も引越しをしてスタッフが80名を超える規模となりました。これもひとえにこの会社を支えてくれている多くの皆様のおかげです。ありがとうございます。この感謝の気持ちを忘れずに障がい者福祉の向上、ヘルパーさんの社会的地位の向上を目指していきたいと考えています。また今後とも（有）パーソナルアシスタント町田をどうぞよろしく願い申し上げます。

ちなみに事業所としてサービスを開始したのは同じ年の平成17年11月1日です。

◇「処遇改善手当金」のお知らせ

2年前から東京都の助成制度で「処遇改善助成金事業」が始まりまっています。当社では、給与規定を改定し「処遇改善手当金」を設けています。全従業員に対して、基本給と深夜割増に一律10%の金額を手当金として払っています。給与明細書の手当の項目をご覧ください。わからないことがあれば事務局までご連絡下さい。

◇衛生委員会報告 ～虫歯について～

虫歯とは、歯についた歯垢（プラーク）の中にいる虫歯菌が糖などを利用して酸を作り、その酸によって歯が溶かされる病気です。

酸によって歯の表面のエナメル質からカルシウムやリン酸が溶け出すことを脱灰といい、唾液による酸を中和する働きにより、溶け出したカルシウムやリン酸が歯に戻り脱灰された歯が修復されることを再石灰化といいます。

口の中では、歯を溶かす「脱灰」と歯を修復する「再石灰化」が繰り返し行われていて、このバランスが崩れ、再石灰化が間に合わず脱灰された状態が続くと、虫歯が進行してしまいます。

虫歯が進行し穴が空いてしまった歯は、再石灰化などにより自然に回復することはないので、虫歯の穴を埋めて修復する歯科治療が必要になります。さらに虫歯が進行した場合、

歯の神経にまで細菌が達してしまい神経を抜く治療が必要になったり、歯の根元にまで細菌が達すると病巣ができて歯肉から膿が出ることもあり、この場合、歯を抜かなくてはならないこともあります。

○虫歯の予防・注意点

・就寝中は唾液の量が減ることにより、あまり再石灰化が起こらなくなります。それにより脱灰の状態が続き、虫歯が進行しやすくなるので、就寝前の歯磨きは非常に大切です。

・歯磨きの際、ちょっとした刺激で歯茎から血がでたりする場合は、そのまま使用すると歯肉を痛めてしまう恐れがあるので、毛先の柔らかいものに変えたりするなど、自分にあった歯ブラシを使いましょう。

・デンタルフロス

デンタルフロスはナイロン・ポリエステルなどの繊維を数十本～数百本合わせて作られた歯と歯の間を清掃するための専門用具です。

歯垢がたまる歯間部などは、歯ブラシの毛先が届きにくく、特に磨き残しができやすい箇所です。

歯ブラシでは除去しにくい歯垢を除去するにはデンタルフロスが有効です。

ただ、使いすぎると歯肉を痛めることもあるので注意が必要です。

・プロフェッショナルケア

普段の歯磨きでは毎日完全に歯垢を除去することは困難です。

歯科医院などで歯磨きでは行き届かない部分をクリーニングしたり、必要な治療を行うことをプロフェッショナルケアといいます。

虫歯予防において、定期的に歯科医院などで指導やクリーニングを受けることも重要です。

・食事の回数

間食が多いとそれだけ脱灰が進み、再石灰化による修復が間に合わなくなり、口の中の酸性状態が続き、虫歯になるリスクを高めます。

食事やおやつなどの間隔をきちんとあけて、ダラダラと食べないことが虫歯を防ぐことに繋がります。

◇インフルエンザの予防接種について

インフルエンザは12月から3月にかけて流行します。

流行する前に予防接種をすることで、インフルエンザの感染や重症化を防ぐ効果が期待できます。パーソナルアシスタント町田では下記の条件でインフルエンザの予防接種費用を負担いたします。

- ・希望者のみ（アレルギーがある人などは注意が必要です）
- ・新型ワクチンなど種別を問わず、年度中1回分の予防接種費用を負担いたします
- ・領収書は原本で、宛名は（有）パーソナルアシスタント町田でお願いいたします